



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	60,842	△1.5	3,799	△6.1	3,885	△5.5	1,963	32.4
29年3月期第1四半期	61,780	4.1	4,047	19.7	4,111	15.6	1,482	△22.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	65.90	—
29年3月期第1四半期	49.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	226,001	135,638	60.0	4,554.05
29年3月期	224,327	134,202	59.8	4,505.85

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 135,638百万円 29年3月期 134,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,900	△1.1	5,000	△13.6	5,100	△15.3	2,700	2.2	90.65
通期	231,200	0.1	9,700	11.1	9,900	8.0	5,600	28.5	188.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	29,784,400株	29年3月期	29,784,400株
30年3月期1Q	294株	29年3月期	294株
30年3月期1Q	29,784,106株	29年3月期1Q	29,784,106株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 商品部門別販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調にあるものの、欧州情勢や米国新政権の政策に対する懸念、中国をはじめとするアジア新興国経済の不確実性などから、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、3店舗の新規出店及び2店舗の増床をいたしました。同時に既存店の見直しもを行い3店舗を閉鎖いたしました。これにより当第1四半期会計期間末の店舗数は、33府県にわたり371店舗（内1店舗は休業中）となりました。

売上高608億42百万円（前年同期比1.5%減）、売上総利益201億86百万円（前年同期比2.4%減）、売上総利益率33.2%（前年同期比0.3ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費163億86百万円（前年同期比1.5%減）、対売上高比率は26.9%（前年同期比0.0ポイント増）となりました。

この結果、営業利益37億99百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益38億85百万円（前年同期比5.5%減）、四半期純利益19億63百万円（前年同期比32.4%増）となりました。営業利益、経常利益の段階では減収減益となりましたが、四半期純利益は、前年同期に「平成28年熊本地震」による震災関連費用9億83百万円を特別損失として計上していたことにより増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第1四半期累計期間は、売上高は272億85百万円（前年同期比0.0%減）、売上総利益95億20百万円（前年同期比0.5%減）、売上総利益率は34.9%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第1四半期累計期間は、売上高は166億63百万円（前年同期比2.7%減）、売上総利益43億89百万円（前年同期比4.9%減）、売上総利益率は26.3%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第1四半期累計期間は、売上高は118億80百万円（前年同期比4.1%減）、売上総利益47億87百万円（前年同期比4.4%減）、売上総利益率は40.3%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第1四半期累計期間は、売上高は50億14百万円（前年同期比0.9%増）、売上総利益14億88百万円（前年同期比0.2%減）、売上総利益率は29.7%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、2,260億1百万円となり、前事業年度末と比較して16億74百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、903億82百万円（前事業年度末比26億33百万円増）となりました。増加の主な要因は、商品の減少（前事業年度末比5億11百万円減）などがあつたものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比35億61百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,356億19百万円（前事業年度末比9億59百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比9億49百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、744億85百万円(前事業年度末比8億67百万円増)となりました。増加の主な要因は、賞与引当金の減少(前事業年度末比5億1百万円減)などがあったものの、支払手形及び買掛金の増加(前事業年度末比22億46百万円増)などによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、158億77百万円(前事業年度末比6億28百万円減)となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少(前事業年度末比6億26百万円減)などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、1,356億38百万円(前事業年度末比14億35百万円増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成29年5月12日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,554	28,116
売掛金	2,697	2,343
商品	57,179	56,668
その他	3,319	3,257
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	87,748	90,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,787	71,517
土地	46,453	46,367
建設仮勘定	1,092	577
その他(純額)	4,590	4,512
有形固定資産合計	123,924	122,975
無形固定資産	2,988	2,990
投資その他の資産	9,666	9,653
固定資産合計	136,579	135,619
資産合計	224,327	226,001
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,074	33,321
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	3,002	2,877
未払法人税等	1,439	1,374
未払金	4,358	4,884
設備関係支払手形	4,311	4,108
賞与引当金	1,080	579
役員賞与引当金	34	-
ポイント引当金	1,250	1,246
資産除去債務	-	2
その他	4,437	3,461
流動負債合計	73,618	74,485
固定負債		
長期借入金	4,572	3,945
退職給付引当金	2,950	3,006
役員退職慰労引当金	1,541	1,515
資産除去債務	5,062	5,154
その他	2,379	2,256
固定負債合計	16,506	15,877
負債合計	90,124	90,363

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	126,338	127,735
自己株式	△0	△0
株主資本合計	134,099	135,496
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	103	142
評価・換算差額等合計	103	142
純資産合計	134,202	135,638
負債純資産合計	224,327	226,001

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	61,780	60,842
売上原価	41,097	40,656
売上総利益	20,682	20,186
販売費及び一般管理費	16,635	16,386
営業利益	4,047	3,799
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	6	6
受取手数料	40	38
受取家賃	55	58
その他	41	51
営業外収益合計	150	162
営業外費用		
支払利息	43	41
不動産賃貸原価	19	27
その他	23	8
営業外費用合計	86	76
経常利益	4,111	3,885
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	29	9
特別利益合計	29	9
特別損失		
固定資産除却損	2	8
減損損失	775	669
災害による損失	983	—
その他	—	14
特別損失合計	1,761	692
税引前四半期純利益	2,379	3,202
法人税等	897	1,239
四半期純利益	1,482	1,963

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	27,296	17,133	12,383	56,813	4,967	61,780	61,780
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,296	17,133	12,383	56,813	4,967	61,780	61,780
セグメント利益	9,564	4,616	5,009	19,191	1,491	20,682	20,682

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	27,285	16,663	11,880	55,828	5,014	60,842	60,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,285	16,663	11,880	55,828	5,014	60,842	60,842
セグメント利益	9,520	4,389	4,787	18,697	1,488	20,186	20,186

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日) (至 平成28年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日) (至 平成29年6月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	27,296	44.2	27,285	44.8	100.0
生活用品	17,133	27.7	16,663	27.4	97.3
家具・ホームファッション用品	12,383	20.1	11,880	19.6	95.9
その他	4,967	8.0	5,014	8.2	100.9
計	61,780	100.0	60,842	100.0	98.5

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他